

発行日：2026 年 7 月 6 日

安全データシート (SDS)

1. 製品名及び会社情報

製品名：ストレッチフィルム

推奨用途：パレット積載貨物の固定、荷崩れ防止及び包装用途

会社名：野添産業株式会社

住所：大阪府東大阪市長田中 3 丁目 1 番 16 号 ヴィガ中央長田マンション 2F

担当部署：購買部海外購買課

電話番号：06-6745-1501

2. 危険有害性の要約

GHS 分類：分類されない

GHS ラベル要素：

絵表示またはシンボル：該当なし

注意喚起語：該当なし

危険有害性情報：該当なし

注意書き：該当なし

GHS 分類に関係しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性：通常の取扱条件下では危険性は低い。

火災・爆発の危険性：

- ・本製品は、引火点以上の温度まで加熱された場合にのみ、発火・燃焼する。
- ・加熱や燃焼により分解し、可燃性ガス又は有害ガスを発生するおそれがある。
詳細は「5. 火災時の措置」及び「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。
- ・加工等により多量のフィルムからの粉じんが発生した場合、一定条件下で粉じん爆発の危険性が生じるおそれがある。
- ・本製品は静電気を帯びることがあり、静電気放電によって着火源となる可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：ポリエチレン系ストレッチフィルム

主成分：ポリエチレン>99.0%

CAS 番号：26221-73-8

4. 応急処置

吸引した場合：溶融した場合に発生する蒸気および粉じんへの有害なばく露があった場合、直ちに影響を受けた人をそのばく露環境から離すよう移動させる。呼吸が止まっている場合は、人工呼吸を施す。安静にして、迅速に医師の手当て、診断を受ける。

皮膚に付着した場合：通常は、応急処置は必要とされない。

頻繁に接触するか、長時間接触した場合は、多量の水で洗い流し、もし石鹼があれば使用する。

高温の製品に触れた場合は、直ちにその部分を冷水に浸すか、多量の冷水で洗い流して、熱を散らす。清潔なコットンシーディングかガーゼでその部分を覆う。傷ついた患部が容易に裂ける可能性があるため、皮膚から物質を除去したり、汚染された衣服を除去しようとしてはならない。

熱傷の場合は、直ちに医師の診断を受ける必要がある。

目に入った場合：この製品は不活性の固体である。もし目に入った場合は任意の異物と同様に除去し、清浄な水で洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：通常は、応急処置は必要とされない。

口の中に残っているものを吐き出させ、水でよく口の中を洗浄する。多量に飲み込んだ場合や気分が悪いときは医師に連絡する。

応急処置をする者の保護：救助者が溶融物に触れないよう手袋を使用するなど注意する。

5. 火災時の措置

消火剤：泡、霧状の水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素。

通電している設備には、近距離から水系消火器を使用しないこと。

使用してはならない消火剤：炎の拡大をまねく場合があるため、火災の初期消火で水ジェットを使用してはならない。

特定の危険有害性

火災時の特有の危険有害性：酸素が乏しい状況下では、一酸化炭素（CO）と刺激性の煙が生成される可能性がある。

特有の消火方法：消火活動は風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入り禁止をする。周囲の設備等に散水して冷却する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。移動可能な製品は速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護：消火活動では適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：床に残ったフィルムは、その表面上でスリップする危険を生む可能性がある。

環境に対する注意事項：もしその物質が川や他の排水系統の公共の下水に流出した場合は、当局に通知をする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材等：フィルム片等が散乱した場合には、速やかに回収・除去を行い、危険な状況を取り去る。

二次災害の防止策：付近の着火源からは速やかに安全な距離を取り、消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：可燃性があるため、作業場では火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努める。またフィルムから発生する粉じんの発生及び飛散を防止すること。フィルムは静電荷を蓄積することがあり、それにより静電放電（発火源）を生じるおそれがあるため、適切な静電気対策を講じること。

取り扱いは、換気の良い場所で行う。取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管：直射日光・水漏れ等、高温多湿を避け室温にて保管する。

安全な容器包装材料：クラフト紙、ポリエチレン袋など

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：フィルムから粉じんが発生する場合は、作業場の換気を十分に行う。

保護具

呼吸器の保護：製品加工、PE（ポリエチレン）フィルムのヒートシーリング、または表面温度が摂氏300度～600度の範囲の高温ワイヤー若しくは刃物を使用する作業において、フィルムからの粉じん、蒸気、またはヒューム（煙霧）への過度のばく露のおそれがある場合は、当該発生源の上部に局所排気装置を設置することが推奨される。また、作業場所は十分に換気しなければならない。

呼吸用保護具：防塵マスク

手の保護：PE（ポリエチレン）素材と直接接触しても、普通は皮膚刺激を引き起こすことはない。しかし、その物質との不必要な接触は避けなければならない。皮膚疾患またはアレルギーを患った経験のある従業員は、直接接触を伴う作業に先立ち、医学的承認を受け取るべきとされる。

手の保護具：保護手袋

目、顔面の保護具：フィルムからの粉じんにはく露されるおそれがある場合は、安全眼鏡、安全ゴーグル、マスクなどの着用が推奨される。

皮膚及び身体の保護具：長袖作業着および安全靴

9. 物理的及び化学的特性

物理的状态：固体

形状／色：透明フィルム

臭い：無臭

密度：0.89～0.96 g/cm³

融点：摂氏 105 度～135 度

引火点：>摂氏 340 度（推定）

沸点又は初留点及び沸騰範囲：知見なし

可燃性：あり

自然発火温度：摂氏 260 度～320 度（推定値。個別の製品組成による）

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：

供給時の製品形態に対する爆発限界の適用データなし。

粉碎、切断等により発生した微細なポリエチレン粉じんは可燃性であり、空気中に、舞い上がった状態で、着火源が存在すると粉じん爆発を生じる可能性がある。

蒸気圧：知見なし

蒸気密度：知見なし

分解温度：知見なし

溶解度

水溶性：不溶性

他の溶媒に対する溶解性：高温の芳香族炭化水素系溶剤に可溶

pH：測定不可（固体のため該当せず）

動粘性率：適用されない

n-オクタノール/水分配係数：知見なし

相対ガス密度：知見なし

粒子特性：知見なし

10. 安定性及び反応性

反応性：通常の使用条件下では自己反応性なし

化学的安定性：通常の保管及び取扱条件下では安定

危険有害反応可能性：通常の取り扱いでは危険有害反応を起こさない。

避けるべき条件：直射日光、水濡れ、高温多湿、火気。

摂氏 250℃を超える温度では製品が熔融し、熱分解を生じるおそれがある。

混触危険物質：強酸化剤

危険有害な生成物：燃焼又は熱分解により、二酸化炭素 (CO₂)、一酸化炭素 (CO)、可燃性炭化水素およびヒューム（煙霧）を生成することがある。

11. 有害性情報

急性毒性：報告された急性毒性の知見はない。通常取扱条件下における有害性は極めて低い。

皮膚腐食性/刺激性：知見なし。通常取扱条件下では皮膚刺激性は認められていない。ただし、熔融した製品との接触は熱傷を引き起こすおそれがある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：フィルムからの粉じんが眼に入った場合、物理的刺激により一時的な眼刺激を生じることがある。

呼吸感作性又は皮膚感作性： 知見なし。通常取扱条件下における感作性は知られていない。

生殖細胞変異原性：知見なし

発がん性：知見なし

生殖毒性：知見なし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：知見なし。ただし、高温加工時に発生する蒸気、エアロゾル又はヒューム（煙霧）を吸入した場合、眼及び呼吸器に刺激を生じることがある。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：知見なし

誤えん有害性：知見なし。固体製品であり、通常の使用条件下では誤えんの危険性は低い。

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし（情報なし）

残留性・分解性：データなし（情報なし）

生態蓄積性：データなし（情報なし）

土壌中の移動性：データなし（情報なし）

オゾン層への有害性：オゾン層破壊物質は使用していない。

13. 廃棄上の注意

本製品を廃棄する場合は、関係法令及び地方自治体の基準に従い、産業廃棄物として適正に処理すること。なお、可能な限りリサイクルを行うことが望ましい。

14. 輸送上の注意

国連分類：国連定義の危険物に該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：火気・水濡れ厳禁。変形の原因となる

乱暴な扱い（落下、衝撃、引きずるなど）をしない

国内規制がある場合の規制情報：消防法の規定に従う

15. 適用法令

消防法：指定可燃物 合成樹脂類（3000 kg以上）

労働安全衛生法：該当なし

PRTR 法：該当なし

16. その他情報

SDS 配布：本文書中の情報は、野添産業㈱のストレッチフィルムを取扱う人全てが入手可能とされるべきである。

重要通知

本安全データシート（SDS）に記載された情報は、作成時点において入手可能な資料、情報及びデータに基づき作成したものであり、その内容について十分注意を払っておりますが、完全性、正確性又は有用性を保証するものではありません。

本製品の取扱い、使用、保管、輸送、廃棄等については、使用者の責任において関係法令等を遵守し、適切に実施してください。

また、本 SDS は通常の見扱いを対象として作成されたものであり、特殊な用途又は使用条件における安全性を保証するものではありません。

当社は、本 SDS の情報の利用又は本製品の使用により生じたいかなる損害についても、法令に別段の定めがある場合を除き、その責任を負いかねます。